



ネットワーク通信

Vol. 90 秋号

平成26年10月20日発行

- 本社・豊岡本社工場
静岡県豊岡市上野部2740-5
TEL (0539)63-5500 FAX (0539)63-5633
- 東海営業部
静岡県豊岡市上野部505-15
TEL (0539)62-1077 FAX (0539)62-1078
- 関東営業所
神奈川県横浜南区大野台3-25-17
TEL (042)704-6211 FAX (042)704-6212
- 豊岡太郎馬工場
静岡県豊岡市上野部505-15
TEL (0539)62-6808 FAX (0539)62-6809
- 船明社工場
静岡県浜松市天竜区船明754-1
TEL (053)922-0330 FAX (053)922-0331
- 船明羽柄工場
静岡県浜松市天竜区船明763-1
TEL (053)925-3399 FAX (053)925-3002
- 船明合板工場
静岡県浜松市天竜区船明665-2
TEL (053)926-1670 FAX (053)922-0331
- スカイ建築館
静岡県豊岡市上野部505-15
TEL (0539)62-6800 FAX (0539)62-6801
E-mail kengakukan-kouhou@sky-jp.com
URL http://www.sky-jp.com/



図1：タメディア本社ビル外観

大型建造物の木造化が進められる中で注目されているのが、CLT（クロス・ラミネーティッド・ティンバー）です。弊社ではいよいよ11月に、CLTや大断面材、更にはR梁等の全てに対応する全自動6軸フルプレカット加工ラインが導入されます。新機械については前回のネットワーク通信でご紹介しましたので、今回はまだ日本では注目され始めたばかりのCLTが、海外ではどのように利用されているのかについてご紹介します。

海外でのCLTの利用方法

■タメディア本社ビル（スイス）

スイス・チューリッヒの運河沿いにあるタメディアの本社ビルは、日本の建築家である坂茂氏が設計した7階建ての木造オフィスビルです。8900㎡を超える大規模な木造ビルは世界初です。この建築物の主要構造材にはCLTを利用しています。CLTと言えは、通常は壁状の面として組み立てていく工法が強くイメージされますが、タメディア本社ビルではCLTを柱と梁の形状に加工して使用しています。（図2・3）



図3



図2

（図1～3：「swissinfo.ch」HPより引用）

■スウォッチ・オメガ新本社（スイス）
スウォッチ・オメガの新本社も坂茂氏の設計です。曲線を描くシェルの部分がスウォッチ本社、木骨造りの部分がオメガのプロダクション・ビルです。その2つの建物が



図4：スウォッチ・オメガ新本社外観

（図4：「坂茂建築設計」HPより引用）

スウォッチでは日本に比べてCLTの普及率が高く、様々な建造物に利用されています。構造計画や構造計算、更には加工技術まで、日本より遥かに進んでいると思われる。今回ご紹介した2つの設計は、日本の建築基準法では許可が取れません。今後、法改正が進む事によって、ヨーロッパのような建築デザインが日本で実現し、それによって日本の製造・加工技術が今まで以上に向上することを期待します。スカイでもこのようなデザインをCAD/CAMで加工できるように技術力の向上に努めていきます。

地方再生の起点とは——地方企業から見えるもの——
一醉三幸寮主

二〇二〇年の東京オリンピック開催に向けて、当初の期待感溢れる祭り気分も少しずつ落ち着いて来ていることは、大変良い傾向だと思ふ。
財政無視した大盤振る舞いによる景気浮揚効果を期待する者の多い事は事実であるが、その後に来る反動について、近頃やと議論されるようになってきたのは良いことだ。
それとは別に、東京一極集中による地方活力の急速な減退は、オリンピック開催に関係無く進行している。
官民間問わず、権力・金・人材が一極に集中していく様子は、ある意味異様である。
多くの人が、その危険性を説くのだが、その意見媒体であるメディアも又、東京発に集中している。
地方からすれば、絶対的とも言える中央からの意向は天の声ともなり、あらゆる施策が上から下への恩寵であるが如き錯覚に慣らされてしまう。

私達は、スコットランド独立の是非、というニュースを最近目にしたが、この日本でも、独立するか否かは別にして「自立した地方とは何か」という事を主体的起点となれば、再生などあり得る筈も無いと思ふ。
地方再生や創生という言葉が何を意味するか、という活性化の定義や、地方の主体性獲得の必須要素、という根本からの思想が無い施策は、地方にとって何も生み出すことにはならない。まさに中央からの「恩寵下賜」にぶら下がるものでしか無いだろう、と考え込んでしまう。
地方再生や創生という言葉が何を意味するか、という活性化の定義や、地方の主体性獲得の必須要素、という根本からの思想が無い施策は、地方にとって何も生み出すことにはならない。まさに中央からの「恩寵下賜」にぶら下がるものでしか無いだろう、と考え込んでしまう。

こだわり物件紹介



最近こんな物件プレカットしました

今回ご紹介するのは、(株)タツミ製金物「TEC-ONE P3プラス」を使用した物件です。

「TEC-ONE P3プラス」は中規模木造建築まで対応できる接合金物です。高い接合効率の金物を使用することで、トラス構造やブレース構造などの軸力系の架橋を、従来では難しかったプランでも実現可能となります。また、これまでも大規模建築を施工するために必要だった特別注文の集成材や金物が不要なため、コストの削減、工期の短縮につながるメリットがあります。



地面で組んだトラスをクレーンで吊り上げる様子



上棟後の内部の様子

編集後記

最近、弊社の工場見学をご希望される方が増え、大変嬉しく思います。見学される方はお取引のある企業様に限らず、行政に関わる方や学生などいろいろいらっしゃいます。見学の際には、お客様のご希望に合わせた見学内容でご案内することに努めています。11月にCLTを加工できる新機械が導入されましたら、是非見学にお越しください。

ふなびら
《船明エリア詳細図》

船明合板工場
屋根・床・壁の面材を加工しています。構造用合板だけでなく、無機質系耐力面材の加工にも対応しています。将来的に、断熱材パネルや外壁サイディングも視野に入れています。

船明柱工場
在来軸組工法、金物工法、ハイブリット工法に対応する柱材専用の加工工場。月に1万坪(800棟分)の加工ができます。

船明羽柄工場
筋違・垂木・間柱・根太などの羽柄材を加工しています。

船明MF工場
今年10月に完成したばかりの新工場。豊岡エリアにあった金物工場を移設しました。金物専用ラインと、在来・金物併用ラインが整備され、フルメタル工法とハイブリット工法に対応しています。



本尊の子安地蔵尊は安産・子育てのご利益があるとされています。また、国の重要文化財に指定されています。

浜松浜北ICから浜名湖まで車で約30分。岸から沖合5Mまでは潮干狩りが周年楽しめます。

《ご案内》
スカイでは工場見学を随時開催しています。建栄館まで御連絡ください。(TEL: 0539-62-6800)

《イベント情報》
◎二保まつり 8月下旬
◎鹿島の花火 8月第一土曜日
◎船明ダムマくらまつり 4月上旬

船明ダム ★
高さ15.3m、幅20mの世界最大級の出水ゲートが9門もあるダム。春は桜の名所として賑わいます。ダム湖は漕艇場となっています。

船明ダム運動公園

備スカイ 船明エリア

内山真龍資料館 ★
天竜出身の国学者の書物や絵画が展示されています。

本田宗一郎ものづくり伝承館
本田宗一郎の「ものづくりの精神」を伝える施設。国の登録有形文化財に登録された役場を改装しています。

秋野不矩美術館 ★
二保出身の秋野不矩画伯の作品を展示。インドの風景や自然をモチーフにした作品が楽しめます。

天竜浜名湖鉄道 天竜二保駅
二保駅舎、屋舎、フラットホームなどが国の登録有形文化財に登録。構内では転台車や扇形車庫、運転司令室を見学できます。

二保城址
徳川家康の長男・松平三郎信康が自刃したとされる城。天守台と石垣、土塁が残されています。

納涼亭 ★
うなぎ料理と四季折々の食材が食べられるお店。

鹿島の花火会場

シルクロードミュージアム ★
シルクロード文化が感じられる美術品が揃っています。

備スカイ 豊岡エリア

花咲乃庄 ★
造り酒屋として栄えた建物は国の登録有形文化財。四季折々の花を見ながら食事ができます。

スカイ周辺マップ

今回のネットワーク通信では、スカイの工場や施設の役割と、周辺観光地についてご紹介します。
スカイの工場がある磐田市上野部(旧豊岡村)周辺や浜松市天竜区周辺は、豊かな自然に恵まれ、多くの場所が景勝地として知られています。スカイにお越しの際は、少し足をのばして観光をしてはいかがでしょうか。

《豊岡エリア詳細図》

豊岡本社工場
土台・梁・母屋・大引などの横架材を加工しています。工場内には金物対応構造ラインのほか、特殊加工機を整備しています。月に1万坪(800棟分)の加工ができます。

豊岡太郎馬工場
11月に全自動6軸フルフレカット加工ラインを導入し、特殊加工ラインを整備します。CLTや大断面材・R梁等の加工が可能です。

建栄館・東海営業部
木造建築の専門展示館。フレカット加工サンプルや金物、住宅カタログを展示しています。大学生によるコンペで設計されたレストルームが見どころ。

豊岡梅園 ★
約12万9000㎡の敷地に4000本の梅花を見ることが出来ます。



イラスト：東海営業部 建栄館・広報課 森 綾美